

議長（黒沢義久君） 次，25番生田目久夫君の発言を許します。

〔25番 生田目久夫君登壇〕

25番（生田目久夫君） 25番生田目久夫でございます。事前通告をいたしておきました常陸太田市駅周辺整備事業について10件ほど質問を申し上げますが、まず、皆さんに配られた質問要旨の中には、私がただ駅周辺整備事業というだけでありまして10項目は記載されておりません。よくご拝聴いただきたいと思っております。

本日は、大変長時間にわたりまして、私が一番最後の8番目ということでありまして、お疲れとは思いますが、最後までひとつご協力のほどお願いを申し上げたいと思っております。

本題に入ります前に、小生の考え方を少々述べさせていただきます。

不肖私は、市議会議員として約18年にわたり、議会活動におきましては常に住民サイドに立って主張し、我が身の保身の余りや事なかれ主義を、また、いたずらに執行部に擁護、融合をすればかりではなく、時には大胆な提言をし、あるいは批判をし、自らの言動には責任を持って初心忘れることなく、懸命に努力をしてまいったと自負をしております。そうした考えの中で、今後一層住民の声に耳を傾け、住民の皆様と綿密な連携を図りながら、真に住んでよかったと、住んでみたいと言われるようなまちづくりに邁進をしていきたいと思っております。

こうした考えの中で改めて申し上げますが、議会は、住民の代表として府の信託に応え、市の行財政全般にわたり、執行者の所信や疑問について質問を得ることは、議員として最重要な使命であり、職責であると信じております。議会は、一般的に批判と監視の府とも言われておりますように、議員は質問を通して市政の事務事業について政治責任を明確にすることによって、公平・公正・公立的な行政の確保を図るための一般質問でありまして、その意義と使命はまことに大きいと言わざるを得ません。したがって、私ども議員は、おのこの資質や能力を高めるために、日常の活動を通じて調査研究を重ね、住民の負託に応えるよう努力をしなければならないと考えているところでございます。

申すまでもなく、地方公共団体の首長と本市では市長さんですが、議員は、おのこの相関関係の信頼の中で、真摯にしっかりと支え合って行政運営に当たらなければならないと思っております。このような考えの中でご質問を申し上げます。市民の皆さんにわかりやすいご答弁をよろしくお願い申し上げます。

まず、1項目といたしまして、駅周辺整備事業開発に対して、去る12月議会において、私の質問に市長の答弁した内容の根拠となる証拠品がいつまで議長預かりになっているのかお伺いをいたします。

2項目に、駅周辺整備事業に対して、工事の見直しを願う407名の地権者、商店街の主、関係者等の陳情書が提出をされているにもかかわらず、これを無視してまで駅舎やホーム等を16億円を投じて新設を強行する市長の真意をお伺いいたします。これは再確認をいたします。

3項目ですが、駅周辺市道の用地補償費、2億4,000万円の内訳、それは安藤商店、横田食堂、それからふつうの住民住居が1棟、いずれも2階建てと、平屋建ての空き家が2棟の5軒との説明があったがこの是非と、また、県の所有地が6.8平米あるようですが、幾らで購入したの

か否か、お伺いをいたします。

4項目として、JR東日本(株)これは旅客鉄道ですが、旧国鉄所有地を1億3,600万円で購入したと聞かすが、どの場所で、事実かお伺いをいたします。

5項目として、JR東日本(株)との分担金の進捗状況についてお伺いをいたします。

それから6項目、駅周辺の整備開発に対して、工事費23億円を投入して工事を進めるとしてはいますが、その経済効果はどの程度に見込んでいるのかお伺いをいたします。

7項目として、駅所有地側の市の公園内の道路の延長新設工事の状況についてお伺いをいたします。

8項目としまして、駅所有地側の市の公園内の道路……。失礼しました。重複しました。

9項目の、現在、駅周辺の異常渋滞となっていること、その原因をお伺いいたします。

10項目として、住民からの工事計画案が提出されましたが、その計画案を却下した理由に正当性が存在するのをお伺いをいたします。去る平成20年7月12日、ファクスで大久保市長あてに、これからの計画は、ハローワークが移転した後、解体をし、高倉アパートの信号機から駅に直接入る道路をつくれれば広い駐車場ができますと。この道路及び広い駐車場に、より駅前の交通事情もよくなりますとの提案が却下された。その理由は、信号機のあるところに道路をぶつけることは問題があるからだめだとのことではありますが、そういう答えをしておきながら、現在一番問題の渋滞する場所に信号機を取りつけた。その辺に今度の渋滞の矛盾があると思うけれども、これは市長の見解をお伺いいたしたいと思います。

以上、10項目について、地元の市民の皆さんを初め、大変な関心を寄せております。わかりやすいご答弁を重ねてお願いを申し上げます。

申し遅れましたが、今、私の発言の中で、8番目の水郡線常陸太田駅改良工事について、ひとつ詳しくご説明をいただきたいんですが、この問題では、部長さんの説明の中では、この積算は市でおやりになりましたということでもありますので、それではその資料を見せていただきたいと申し上げましたところ、それは今手元にはないと。JR東日本(株)のほうへ任せたら私どもはよくわかりませんと、こういう返事であった。それで私もそれは実際に積算した資料を見なければわからんけども、それで市は実際に計算していればいいんだけど、していなかった。まるっきり丸投げではないかというような質問をしました。ところが部長さんは、この問題は、契約ができてから発表します、資料をお渡しいたしますということではありますが、これは公的にどうということかそういうことをおっしゃったのか。その辺についてご説明をいただきたいと思うわけがあります。どうも8番が漏れましたので失礼をいたします。よろしくお願いを申し上げます。

〔「議長、休憩を求めます」と呼ぶ者あり〕

議長(黒沢義久君) 今、議運の委員長より発言がございました。暫時休憩いたします。

午後3時32分休憩

午後3時44分再開

議長(黒沢義久君) ただいまより会議を再開いたします。議長より答弁を申し上げます。

この件についてでございますが、平成21年1月27日、午前11時から議長室において議長、それから茅根副議長、生田目議員、それから前大谷局長、吉成副参事が同席の上で、この件について内容の根拠となる証拠を挙げると、いつまで議長預かりにしているのかということなのですが、この件については議長、もちろん副議長とも建設部より提出された資料を生田目議員に提出いたしました。こういう資料ではだめだと。それで、11時にお出でになったんですが、午前11時17分に歯医者に行かなければならないので帰るということで、お帰りになってしまったので、その時点で議長と副議長におきましては、議員には提示をしております。ですから、この中で内容の根拠となる証拠ということになっておりますけれども、この件に関しては副議長がもちろん承認済みでございます。

それから3番目の、駅周辺地の賠償についてでございますが、内訳が各商店名が出ております。これは個人情報内容でございますので、これについて答弁するのはいかななものかと思っておりますので、これを削除したいと思います。

それでは、その内容に沿っての答弁をお願いします。

答弁を願います。市長。

〔市長 大久保太一君登壇〕

市長（大久保太一君） 2番目の項目として、陳情書を無視して事業を強行する理由は何かというお尋ねがございました。これまで本議会におきましても、駅前の整備についての必要性については再三再四申し上げてきたところでございますので、改めて申し上げることを割愛させていただきます。

市といたしましては、陳情書を無視しているわけではなく、市民の声を真摯に受けとめ、その後、地元説明会を開催し、市の考えを説明させていただき、都市計画法に定められた手続を行い、議会にも議案として提出し、議会の議決をいただいて事業を進めているところでございます。

次に、駅周辺開発について、ただいま現在、駅周辺が異常な渋滞となっているというご指摘がございました。駅周辺の整備事業における暫定駅前広場の整備によりまして、広場利用者の円滑な交通誘導と安全を図りますため、信号機が1機増えたことから交通渋滞を招き、駅利用者等に大変ご不便をおかけしているところでございます。現在は、暫定駅前広場入り口の信号機を車両感应式に変えまして、混雑の解消を図っているところでございます。

次に、住民から工事計画案が提出されたが、それを却下した理由に正当性が存在するのかというお尋ねでございます。ご提案の内容は、ハローワーク移転後、解体を行い、高倉アパートの信号機から駅に直接入る道路の整備と思われそうですが、新設する交差点の形状は十字交差や交差点の間隔が十分に離れていることが原則でありまして、ご提案の内容では交差点の形状が悪くなり、交通処理も大変難しく、交通危険箇所になるおそれがあると判断をいたしまして、提案者にも回答を申し上げたところでございます。

議長（黒沢義久君） 本日の会議時間は、議事の都合により、あらかじめこれを延長いたします。

答弁を願います。建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 駅周辺開発についての残りのご質問についてお答えいたします。

3点目の、駅周辺市道の用地補償費の内訳と県所有地の購入についてでございますが、駅周辺市道の用地補償費の内訳については個人情報でございますので、先ほど議長からあったとおり、答弁のほうは控えさせていただきます。

県所有地の6.8平方メートルにつきましては、県所有地の歩道部分でございますので、市では購入を行っておりません。

次に、4点目のJR東日本からの土地購入と購入場所についてでございます。

駅前広場等の用地といたしまして、JR用地2,312.57平方メートルを1億869万790円で購入いたしております。場所につきましては、現在の軌道敷き及び駅舎ホーム等でございます。

次に、5点目のJR東日本との分担金の進捗状況についてでございます。

分担金につきましては、JRから応分の負担をいただけるということになっております。11月の予定で駅舎建築工事入札の準備をJR東日本で行っておりますので、旧駅舎の残存価格、新駅舎の面積や建築価格等を協議し、入札後にはお示しできるものと考えております。

次に、6点目の駅周辺開発による経済効果についてでございます。

駅周辺整備工事は、変則交差点改良を行うことで、交通安全の確保が図れるとともに、常陸那珂港や日立港へつながる物流道路としてのボトルネックの1つが解消され、さらなる物流の効率化が図られます。

また、駅前広場や駅舎などの整備により、駅利用者の利便性の向上がもたらされ、これまで分断していた駅の東西の市民の連携が強化され、情報発信や交流が広がるなどの効果を見込んでいるところでございます。

次に、7点目の駅所有地側市の公園内の道路の延長新設工事の進捗状況についてでございます。

駅西区画道路として延長70メートル、幅5メートルで整備を進めておりまして、現在は進捗率が約90%でございます。10月17日までに完成する予定です。

次に、8点目の水郡線常陸太田駅改良工事についてでございます。

JR東日本への委託工事の内容、内訳につきましては、現在JRにおきまして建築工事の入札の準備をしていることから、JRが入札を行い、業者が決定した後に報告させていただきたいと考えております。現在、入札に関しましてJRが準備中ということでございますので、JRとの信頼関係を崩すことにもなりかねませんので、JR入札後のご報告とさせていただきます。

議長（黒沢義久君） 25番生田目久夫君。

〔25番 生田目久夫君登壇〕

25番（生田目久夫君） ご説明をありがとうございました。第2回目の質問をいたすわけですが、ただいま議長さんのほうから、その資料をあげたというわけですが、これは、実は第1回目に11時に来いというのでお伺いしました結果は、8枚ほどの資料が提供されましたが、何ら国土交通省のほうでやってもいいというような書類は全然出てこなかったと。それ

で、これは私どもが求めているのではないと。だから、きょうはだめですよということで帰りました。そして、この書いてあることを私の関係者、支持者にお話をいたしました。それで再度、それを見せてもらいたいということで3名でまいりまして、一方は富岡さんという写真屋さんです。お一人は篠崎さんという方でありましたので、富岡さんがそれを見ながら写真を撮って、「これは全然合いません。確かに生田目さんが言っているとおり、本当にはないですよ」ということになりまして、それで結局、そのまま議長預かりというのをいつ出すんだかということで待っておりましたが、出てこないで、結局、現在、待ちに待ち切れないので実は請求をいたしたわけがあります。

実際、この前の12月の質問でも申し上げましたように、常陸太田は交通事故が多発するところだと。そういうことであるから優先して常陸太田を直すべきだということをして市長さんが申し出ておりましたので、それを詳しくチェックをいたしましたところが、皆さんも前にごらんになったと思いますが、交通事故対策課題箇所茨城県常陸太田市、そして優先度の高い区間の集中投資戦略、こういうことを書いたものが渡されたわけなんです。これがそうですよと。これがそうですかと。これを詳しくチェックしてみますと、これは国道交通事故対策の課題箇所というのは、これは国土交通省の文言なんです。それで右側の優先度の高い区間の集中投資戦略というのは、関東整備局からのものなんです。

〔発言する者あり〕

25番(生田目久夫君) 黙って静粛に聞いてくださいよ。それで、この関東整備局の、当時は久保田さんがそうおっしゃっている。そのうちに中葉さんという人にかわりまして、交通事故の多い場所にはお金は出しますと、ただ、それだけですと。国土交通省でもこういうものは全然出しておりませんと。結局、関東整備局でも、私らも全然出しておりませんと。それで、今度は水戸交通センターにまいりました。そしたらここでも全然わかりませんと、そういうことなんです。で、どうしたと、これは市で作ったんじゃないかという皆さんの意見なんです。

張り合わせたものだという。これはどうなんですか。住民をだましているようなことなんですよ。この前も申し上げましたが、だまして補助金をとるとどうということになるかということなんです。それだから私は重要ですからここで聞きしておるわけなんです。全然国土交通省で交通事故が常陸太田市の駅前が多過ぎるからと、そんなことはないんですよ。17年度にこういうふうにありましたね、死傷事故300件が交通戦争といわれた40年代にあったと。ところが現在は常陸太田駅の交差点の死傷事故率は715.2件/億台キロ、ということなんです。

〔「休憩を求めます」と呼ぶ者あり〕

議長(黒沢義久君) 発言中ですから聞いてください。

25番(生田目久夫君) 聞いてくださいよ。何を妨害するような発言をするんですか、だめですよ。黙って聞きなさいよ。私は真剣にやっているんだ、住民の代表として。

〔発言する者あり〕

25番(生田目久夫君) 黙って聞いてなさいよ、そんなことは。そういうことで全然不意打ちをくらって駅前を開発するというものはないんですよ、何も。国土交通省ではそんなことは知

りませんよと、関東整備局でも知りませんよと、水戸へ確認に行っても知りませんよと。じゃあ、どこでやったんだということになってくるんですから。これは困りましたよ。補助金も何もかもとられちゃいますよ、こんなことをやったら、事実なら。これは重要なことなんです。何でこれを私が重要な点を皆さんにご説明、お聞きしているのに、反対したりじゃましたりするんですか。議員の発言は神聖なものなんですよ。妨害するというのはいけないんですから、第何条に書いてあるじゃないですか。

議長（黒沢義久君） 生田目久夫議員に申し上げます。この1月27日の時点から、今年の9月の議会までにかかなりの期間があったと思うんですが、その間にそういう質問等を議長あてとか市長あてに出しておりますか。

25番（生田目久夫君） これは中間では申し上げておりますが、いつ出すかまではわかっていなかったということで、返事をいただいただけでしばらく待っていたわけです。ですから、結局は、待ちに待ち切れぬ、もう工事がどんどん始まる、それじゃあまずいというので、私は催促的に申し上げるような発言をしたわけでありまして。そういう重要な発言に皆さん拝聴してお聞きしまして、妨害的におっしゃるといのは、いかがなところだと思いますよ。第何条にそういうことが書いてあるから。よく考えてくださいよ。それ以上は申し上げませんが。

それから、市長に申し上げますが、結局こういうことに対して、市長が何々したということで、そういうことはありませんと言っておりますが、実際に、詳しく申し上げますが、全部私、記録を持っていますから、最初からね。突発的に平成17年に日立電鉄さんが廃線になったと。そこで、今までの計画は白紙に戻すと市長さんは申し上げて茨城新聞に出ました。それで、そのときに2日間にわたって地元で説明会をしました。このときに、それはそれは急に、十何年間も開発予定地区となっていた地区が、ほんの一部一棟だけで23億円もかけてやられると。これではもったいないと。ましてやこの駅の開発というのは、将来合併して駅が渋滞しては困るので、それでトンネルをつくって、木島橋をつくって結局、駅前の交通事故は緩和されるんだということで、高台の商店街馬場町まで猛烈な反対をしたんです。そんなトンネルをつくれちゃったら上は通らなくなると、ますます我々は死活問題だというんだけど、将来合併をして駅前の交通渋滞が解消、緩和されるならば、それもやむなしということで、これは平成8年に始まったと。そして52億円ですよ、その当時。木島橋は12年ですか、38億円という。それが丸々できるんだったら駅前の、例えば毎日1万7,000台ぐらい通過しております。それがどういうことになるんだと申し上げたところが、一部はトンネルができれば1万7,000台はただの7,000台ぐらいになるだろうと。それで、じゃあ、木島橋ができたらどうするんだと。そしたら3,000台ぐらいになると。3,000台ぐらいの交通量になるのに歩道橋は撤去するは、横断歩道は3カ所あるのを2カ所にするは、道路はもっと拡張するは、歩道橋もつくるは、そういう道路をつくって何なんだと。それを見てから改めて工事を進めてもらいたいと。もったいない金はこの不況なんだから使わないでくれと、こういう地元の方、皆さんの要望だったんですよ、407名の陳情書というのは。

それが、説明会をやりました、その後もやりましたとおっしゃっておりますが、それは全然や

っていないんですよ。どこでいつどういう方が何人ぐらい集まってやったのかと聞いたって、全然前の建設部長も返事ができない、できるわけないんですよ。やっていないんですから、事実に。それを平気でやっていますよと、やっているからなんですよと。例えば、この前の参考にあります、全員協議会、これは議会に等しいものですが、これが19年6月11日ですが、初めて議員さんのところに文書が届けられたと、それで説明があったと。常陸太田駅地区の今度は施設計画についてと。名称をどんどん変えるんだよね。それで、こういうのを回付された。これをずっとよく見たら、そしたら、この下に建設部長と書いてあって、おおむねまとまったので、きょうは議員の皆様へ報告するということがあったんですよ。どこでまとまったんだか、全然ないですよ。結局住民との話し合いというのは決裂しちゃっているんですから。2日間やって、もうけんか腰で罵声と怒声で終わりになっちゃって、最後に市長さんが出てきたときには、予定時間のまだ、例えば7時から始まって1時間だとすれば、予定時間の1時間にならない、これは記憶しているが、40分のときに富岡さんという人が質問した。そしたら、失礼だがあんたとは話ができないと、私は帰ると。市長さん、そうじゃないですか、そして怒って、全部で8名だか9名だったかな、引き連れて帰っていったんです。私は中に入って困ったから、市長さんよと、何ですかと、まだ帰られたら困りますよと言っているのに、それを全然無視して帰っちゃったの。

そういうことでね、実際すべてが住民と話し合って理解をしたと言っているんですよ。ところが全然ないんですよ。ここにいらっしゃる方みんな笑っていますよ。全然理解なんかしていませんよ、これ。そういう問題でありながら、一方では、やるたびに住民の皆さんとよく話し合って理解をしてもらったと、こういうことを言っているんですよ。どうなんですか、市長さん。おっしゃっておられるのは、私の言うとおりでしょう、これ。どこでその後でやったということ私には前の部長さんには聞いていた。どの場所でそういう理解をしてもらったか、どの人あてにしてやったのか。

議長（黒沢義久君） 生田目議員に申し上げます。質問内容につきましては簡潔にお願いいたします。

25番（生田目久夫君） はい、簡潔にすると申されましたが、結局、もとの工事の内容という筋道というのは、何でやらなきゃならないのかと、今の住民の407名の陳情書が出て、これでは困るから、改めて直してからそれからやっていただきたいと。やってくれるのはありがたいが、お金がないのに今ごろ金かけて、それでもし、前は国鉄でよかったが、それでもやめるということになったんですからね。その次に、今度は認可になりました。去年一昨年。はい、赤字になりました、帰りますと言われたんじゃ、16億円もかけた駅舎新たにつくって、どうなるんです。そういうことなんですよ。これを皆さんどう理解するんですか。

これ、市長さんに聞いたって返事をしないんですよ。そのとおりなんです、間違いありません。これが解決しなければ、この問題はだめなんですよ。

この文書、これは市長さん、うそでしょう。どこから出てきたんだと言っているんです。この件、とにかく今私が申し上げたことで……。

とにかくお願いします。この件について、私は徹底的に追及をしますが、とにかく話してくだ

さい。

議長（黒沢義久君） 生田目議員に申し上げます。質問の内容は、要点をまとめてもう一度、再度お願いします。質問の内容ですよ。

25番（生田目久夫君） 質問はですね、失礼しました。第1回目のときに、10項目があると。10項目のやつはこれには記載はしていないけども、口頭で私が申し上げますからよくお聞きくださいと申し上げて私は始めた。全部で10項目ありますので、議長さんに8番が抜けたというから改めて追加をして質問をいたしたわけです。ですから……。

〔発言する者あり〕

25番（生田目久夫君） あんた聞いていないからこういうことを言うんです。聞いてないから、私はちゃんと質問している。1回目は全部質問をしたんだ、10項目。なぜそんな妨害するようなことを言うんだ。だから今は、私の第2回目は、市長さんはそういうことを言ったけども、そういうことが事実、例えばですよ、住民とよく話し合って理解をした上でやったと。こういう問題が出たけれどもその後こういうふうにし話し合って理解を求めたからやるんだと。あくまでそういうふうには押し通しているんですよ。だからその問題についてお聞きしたんです。これからその問題が解決すれば、これは次の段階に入るわけなんです。だから、事実そういうやったことに対して、理解を求めた、そこがおおむね了解されたから、その前の建設部長じゃないが、了解されたからこういうことが始まったんだと、こういうことなんです。だから、了解されたというのは、いつどこでどの場所で、どういう方が集まって、そういう話し合いをして了解されたのかということです。

今市長さんの声を、どうして理解を求めて工事が始まったと、補助金を申請したということだから。これはうそをついて、国土交通省はそんなことを言ってないと言っているんだから。言っていないのを補助金をもらって工事を進めたらば、どういうことになるかということなの。一番重要な問題だよ。だからそれを今市長さんに聞いている。これは我々は、これからの問題がうんとあるんですよ。市長さん、これ話してください、今の問題について。ちゃんと。国土交通省ではやっていないというのをやったつうんだよ。その資料を。

〔傍聴席より発言する者あり〕

議長（黒沢義久君） 傍聴の方に申し上げます。あくまでも個人的な意見は控えてください。

〔傍聴席より発言する者多し〕

〔「議長、退場させろよ、傍聴」と呼ぶ者あり〕

議長（黒沢義久君） 傍聴席からの発言は控えていただきますので、再度発言がある場合には退場となりますので、どうぞお気をつけください。

25番（生田目久夫君） すぐしてくださいよ、答弁してくださいよ。住民が納得していない、こうやってたくさん来て1つも納得していないのに、納得をしたからやるんだというその理由をですね。これはないんだから、国土交通省ではそういうことは言ってないと言っているんだから。そしたらこの資料はそういうものは作っていないし、全然作っていない、水戸まで行ったって作っていない、関東整備局も国土交通省も3カ所で言っていない。どこでやってんだ。これは水戸市

がやったのか。水戸市もやっていないんです，これ。常陸太田市がやったんだよ。ということになっているんだよ。その証拠を出せってあんた，出てくるわけがないんだ，本当は。だからこうやって困っているんだよ。皆さんわかりますか。そういうことで工事を進めたらどうなるんですかと。今までかけた工事費はみんな没収されちゃう，それだから私は真剣にお金がないのにそういう余計なことをやってはだめだということでは言っているんです。どうぞよろしくお願いします。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 2回目のご質問についてお答えいたします。

質問内容といたしましては，議長預かりの資料についての件だと存じます。死傷事故率の資料につきましては，市が国や県に国道交差点改良事業を国の補助事業として採択するよう働きかける中で，国から事業に必要性を説明するために国が作成した資料であるとして入手したものでございます。これまでに市は，国へ照会等も行っている国の資料であることを確認したところでございます。この経緯につきましては，議長にもご説明申し上げたところでございます。

〔発言する者あり〕

議長（黒沢義久君） 静かに。静かに。25番生田目久夫議員。

25番（生田目久夫君） 今，部長さんの答弁にありましたが，再度国土交通省のほうに要求をした結果，そういう許しが出たからやるんだと言っています。だから，許しが出たならばその証拠，許されたという証拠を見せてくれと言っているんです。全然ないんでしょう，これ。国土交通省でも関東整備局でも水戸の交通センターでも一切そんなことは関係ありませんって言っているんです。この前質問した内容と同じなんですよ。国土交通省では，私らが関係しているのは，国道6号，通称6国と言っている日立からの，それと50号，51号と，この3路線しか関係していないんですよ。あとはわかりません，まして常陸太田駅の交通事故が多い，死傷事故が多いなんて，そんなことはノータッチで，よしてくださいよと，こういう返事なんです。関東局に行ったらそのとおり，いやこんなことは全然私は知りませんし，申し上げたこともありません。こういう資料も見たこともありません。で，水戸行っちゃ，水戸だって言うから今度。水戸に行ってみたら，水戸でも，うちでもこういうことはやっていませんよと。これはおそらく常陸太田で勝手に作ったものじゃないですか，私らはやりませんよ，関東整備局でもやらないって言っている，東京でもそういうことをやれと言ったなんていうことはやっていないですから。ですから絶対これはね，1年半もたっているんですから，私が請求してこの証明を出せと言って。絶対あるわけないんですよ，これは。国土交通省も関東……，何回も申し上げるようですが，言ってないということだから，ましてやこういう文書なんか作っていないと言っているんです。だから当然，地元の方たちもこれはいいあんばいに常陸太田市が作ったんだと。一体だれが作ったの。返事はしない。

こういううやむやなことで，この金がない32市のうちに，今や常陸太田市は後ろから2番目だ，財政力がないのは。それにそういう23億円も投じてやりまして，それで果たしてどれだけの収益が上がるのかと。住民の皆さんが，もったいないからもう少し交通量が定まって，そした

らその結果，どの程度の交通量になって渋滞がなくなるのか，それを見てからこの工事は改めてしていただきたいというのが407名の皆さんの血の出るような叫びなんです，陳情書なんですよ。それがいいんだから。なくて私はこれ以上質問ができない。住民の皆さんがただ賛成だ，私の言うこと反対だ，そんな状態でどうなりますか。もう少し私は最初に申し上げたように，議員というのは公正，公平，ここに書いてあるように，自分の言動というのは責任を持って，だから申し上げているんだ，最初に。こういうことになったろうって。だから，今その問題について，まず市長さんにこれを聞きたい。それから，この経済効果を本当はこれから聞くわけなんだけど，こういうふうになって，いつでも中間で妨害されるんですよ，済みません。よろしくお願いします。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。建設部長。

〔発言する者あり〕

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 3回目のご質問にお答えいたします。

県が行っております国道の交差点改良事業につきましては，市では国の補助事業として採択するよう要望していたところでございますが，補助事業として採択されまして，現在事業が行われているところでございます。

〔発言する者あり〕